

## 1 研究主題

学びに向かう力を育む音楽科の授業を目指して

## 2 はじめに

本研究会では、これまで、仲間と共に表現や鑑賞をする楽しさを体験させることで、「学びに向かう力」を育むことに重点を置いた実践に取り組んできた。今年度は、プロセスを重視した指導を充実させ自己を振り返ることにより「学びに向かう力」を育むことを目標にしてきた。しかし、1時間1時間の授業を楽しむことはできているが、学んだことを次につなげ、関連づけて学ぶことや、自ら課題を見つけ、学び深めていくまでには至っていない。児童同士が互いの視点を共有するなどの集団的なメタ認知能力を高め、学びの往還をさせることが「学びに向かう力」を高めていくと考え、授業づくりに取り組んだ。

## 3 研究経過

小学校低学年部会、小学校中学年部会、小学校高学年部会、中学校部会の4つの分科会に分かれて、実践報告・協議を行った。実践報告では、疑問や意見を交流し、教員一人一人の指導力の向上につなげていった。レポートの内容以外にも、日々の授業の悩みなどを気軽に相談し合い、情報交換をすることができた。

また、合唱の実技研修として「空は今」と「ほらね、」の2曲を練習し、11月に行われた小中学校音楽会で演奏を披露した。

## 4 研究の概要

研究を進めるにあたり、子どもたちが歌を歌うことに「楽しい」「自分たちの歌をよくしたい」「こんな思いを表現したい」など、児童主体の取り組みができるように具体的な手だてとして以下の2点に重点を置いて授業づくりを行った。6年生『おぼろ月夜』での実践を報告する。

### (1) 児童主体の活動を設定する

一人一人に課題や目標をもたせるための手だてとしてグループ活動を積極的に取り入れるようにした。児童同士が関わりながら協働的に活動をすることで、集団的なメタ認知能力が働き、自分たちで課題を見つけ、目標を立てて取り組むことができる考えた。

実践では、児童が互いに歌声を聴き合ったり、

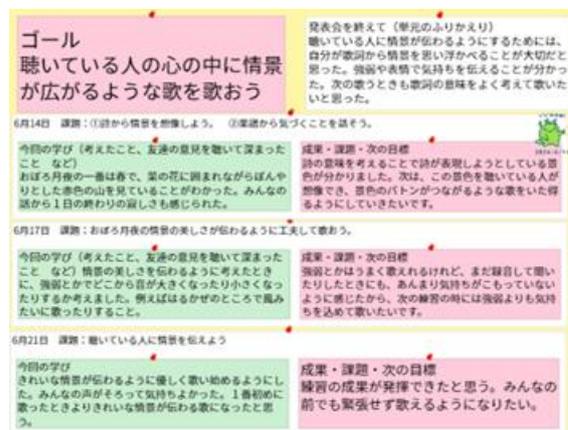


<自分たちの歌声を確認している様子>

タブレットの録音機能を活用したりすることで、「もっときれいに歌いたい」や「声をそろえたい」という課題を見つけ、工夫して歌う様子が見られた。さらに情景を表現するために「なめらかに歌いたい」「強弱をつけたい」などの課題にも取り組んでいた。集団におけるメタ認知により変容が分かり自信をもって歌えるようになっていった。

## (2) ふり返りの工夫

単元で1枚にしたふり返り用紙に、本時の目標や課題に対して、自分が次時の自分へバトンをつなぐような「自分のためのふり返り」を意識して書かせた。「みんなの話から1日の終わりの寂しさも感じた」という学びや「次は、この景色を聴いている人が想像できるような歌が歌いたい」という次の目標が見られた。児童は、次の時間や単元と単元の学びを往還させ、自ら課題を見つけ深めることで、音楽の楽しさや良さに気づき、次への意欲を高めることができた。ふり返りを児童が共有したり、教師が価値付けしたりすることを通して学びが深まった。



## 5 今後の課題

小学校の実践からは、ロイロノートを使用したふりかえりカードに動画も貼り付け蓄積させる実践が報告された。児童が動画を蓄積し表現を客観的に聴くことで、メタ認知が進み、自分たちで課題を見つけ解決に向けて前向きに取り組むことができるようになっていった。

中学校の実践では、授業のめあてを明確にして提示し、「学習活動」「学習内容」「次の目標」に分けてふりかえりを書かせる実践が報告された。生徒は、めあてに沿ったふり返りが具体的に書けるようになり、次の学びにつなげることができた。

どちらの報告もふり返り用紙を単元で1枚にまとめることで、前時とのつながりを感じながら学習を進められた。自分の変容も分かりやすく、児童生徒から自信ややる気を感じられた。

本研究会では、小学校部会と中学校部会に分かれて、実践報告・協議を行っている。今後の課題として、児童生徒の資質・能力を育むために小学校と中学校が連携して、9年間のカリキュラムを計画していく必要があると感じた。今後も協働とふり返りで学びをつなぎ、「学びに向かう力」を育てていきたい。

### <小学校の実践>

	写真や動画	ふりかえり
①		今日は、リコーダーと歌をしました。歌はマルセリーノってやつでも <u>高音</u> で出しづらかったです。歌だけじゃなくて、リコーダーや、てっきん低音などさまざまなものがあるのだと思いました。
②		今日は、マルセリーノだけをしました。私はリコーダー2でとてもよくできたと思います。 <u>雰囲気</u> が <u>暗い曲</u> なので <u>短調</u> ということがわかりました。

### <中学校の実践>

音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう

ゴール (1) 音のつながり方の特徴について表したいイメージと照らして理解する。 (2) 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽を作るための必要な、課題や条件に沿ったとの選択や組み合わせなどの技能を身につけ、創作で表している。 (3) リズム感やリズム感を理解し、どのように音楽を作るか思いや意図を持っている。

学習活動の振り返り	授業内容の振り返り	学習の振り返り	学習の振り返り
5月2日 音楽の動きを感じ取って歌おう とあさが大きな声ではつらつと、明るく口角をあげて歌っていたので真似して、はつらつと歌えるようにしたい。	音楽で自分の気持ちを表現したい。この曲は、明るく歌ってみたい。音楽で自分の気持ちを表現したい。この曲は、明るく歌ってみたい。	最後の教科書を見ずにドレミを言うので全然できなかったからいえるようにしたい。	ドラえもんじゃなみたい
5月9日 音楽の構成を感じ取って歌おう 林さんが曲の構成を感じ取って2段目3段目を上手な言葉で埋めたいので真似したい。	繰り返し 終わらさうな感じは「E」でわり、終わらさうな感じは「F」以外で終わることがあった。	曲の構成を自分で作って曲を作ると言っていたので順次進行や段階進行を使って構成したい。	大谷翔平すごい
5月16日 音楽のつながり方を意識して歌おう まひろさんが曲の構成をしているときに段階進行、順次進行を気にしてやっていたから自分も真似したい。	繰り返し 作曲を作るのがとても楽しかった。作りたい曲は「F」以外で終わることがあった。まひろさんが教えてくれたのでよかった。	作曲をだいたいどこまでやり、テーマは絶対決めて	